



会社名 J.フロント リテイリング株式会社
 コード番号 3086
 代表者名 代表執行役社長 好本 達也
 お問合せ先 財務戦略統括部 IR推進部
 TEL 03-6895-0178

2021年12月度 J.フロント リテイリング 連結売上収益報告 (IFRS)

1. セグメント別売上収益 (売上高) (対前年増減率: %)

	売上収益(IFRS)		(参考)総額売上高	
	12月度	9-12月累計	12月度	9-12月累計
百貨店事業	7.8	4.8	12.6 (13.7)	8.7 (9.2)
SC事業	▲23.9	▲20.2	4.9	▲1.8
デベロッパー事業	40.4	10.2	28.0	2.9
決済・金融事業	27.1	27.3	23.4	31.5
その他	▲6.4	▲9.3	▲5.6	▲8.6
連結合計	4.1	▲1.1	11.2	5.9

- ※注) 1. 当社は2017年3月から国際会計基準(IFRS)を任意適用しています。
 2. 総額売上高はIFRS売上収益のうち「百貨店事業」と「その他(大丸興業)」の消化仕入取引を総額に、「SC事業(パルコSC)」の純額取引をテナント取扱高(総額ベース)に置き換えて算出しています(なおパルコでは、2017年度から日本基準の売上高を純額ベースで算出する方法に変更しています)。
 3. 当社グループは、2021年度より「百貨店事業」、「SC事業」、「デベロッパー事業」、「決済・金融事業」を報告セグメントとします。
 4. 各セグメントの対前年増減率は、それぞれを構成する事業会社の単純合算により算出しており、セグメント内消去を含みません。
 5. 松坂屋豊田店は、2021年9月末日をもって営業を終了しました。百貨店事業の()内は、松坂屋豊田店の値を控除した増減率を示しております。
 6. デベロッパー事業に含まれるJ.フロント建装において、今期より会計処理方法を変更しております。
 7. 心齋橋PARCOは、2020年11月20日に閉店しました。
 8. 当社は、2021年6月30日付で㈱ヌーヴ・エイの全株式を譲渡しました。
 9. (株)大丸松坂屋百貨店は、2021年9月1日付で(株)大丸松坂屋セールスアソシエイツを吸収合併しました。

2. 事業別の概況

1) 百貨店事業

- 12月度の売上高は、外出機会の増加や前年の新型コロナウイルス感染症第3波影響の反動などにより、売上高・入店客数ともに前年実績を上回り、大丸松坂屋百貨店合計(既存店)では対前年13.6%増、関係百貨店を含めた百貨店事業合計(既存店)では同13.7%増となった。
- 大丸松坂屋百貨店合計の免税売上高は対前年▲9.5%減(客数同▲9.0%減、客単価同▲0.6%減)であった。
 *注) 免税売上高の実績には、大丸心齋橋店の定期賃貸借テナントの免税売上は含まれません。
- 大丸松坂屋百貨店の国内売上高(免税売上の本年・前年実績を除く)は対前年13.8%増であった。
- なお大丸松坂屋百貨店の1月度の既存店売上(法人・本社等を除く)は、入店客数の増加や前年の新型コロナウイルス感染症第3波影響の反動もあり、16日までの累計で対前年26%増(対2019年度▲21%減、対2018年度▲25%減)、国内売上高は同26%増(対2019年度▲13%減、対2018年度▲19%減)で推移している。

2) SC事業

- 2021年6月30日付で(株)ヌーヴ・エイの全株式を譲渡したことを主因に、SC事業の12月度の売上収益は対前年▲23.9%減、総額売上高は同4.9%増となった。
- パルコ店舗テナント取扱高は、前年の新型コロナウイルス感染症第3波の影響の反動があったほか、改装が奏功した都市型店舗の売上が好調に推移し、全店計で前年に対し大幅に伸長した。

3) デベロッパー事業、決済・金融事業、その他

- デベロッパー事業は、J.フロント建装が受注増加により増収となったほか、パルコスペースシステムズも増収となり、トータルで増収となった。
- 決済・金融事業のJFRカードは、年会費の増加やカード取扱高の増加等により、増収となった。
- その他は、人材派遣業のディンプルが減収となったほか、卸売業の大丸興業も電子デバイス事業や自動車事業を中心に減収となり、トータルで減収となった。

【お問合せ先】 J.フロント リテイリング株式会社
 ・ IR推進部 TEL 03-6895-0178
 ・ グループ広報推進部 TEL 03-6895-0816 FAX 03-6674-7565

2021年12月度 百貨店事業 営業報告(日本基準)

1. 売上高および入店客数 (対前年増減率：%)

	12月度		9-12月累計	
	売上高	入店客数	売上高	入店客数
大丸 心齋橋店	21.4	35.4	15.8	19.7
大丸 梅田店	9.8	42.8	6.1	14.6
大丸 東京店	23.2	40.4	14.3	18.8
大丸 京都店	3.2	13.6	1.8	0.6
大丸 神戸店	15.9	16.4	12.5	6.5
大丸 須磨店	▲12.8	9.3	▲15.4	5.6
大丸 芦屋店	1.5	10.8	10.1	19.9
大丸 札幌店	22.7	37.2	16.9	21.4
大丸 下関店	▲4.1	0.8	▲4.7	▲6.1
松坂屋 名古屋店	12.5	21.0	8.5	5.9
松坂屋 上野店	12.0	19.1	7.9	12.5
松坂屋 静岡店	12.9	29.4	11.5	14.6
松坂屋 高槻店	▲17.3	20.7	▲16.2	11.5
店 計	12.0	26.1	8.8	11.6
既存店計	13.2	28.0	9.4	12.6
法人・本社等	27.5	-	16.2	-
大丸松坂屋百貨店合計	12.4	26.1	9.1	11.6
うち商品売上高 ※3	12.5	-	9.2	-
うち不動産賃貸収入 ※3	8.3	-	6.9	-
既存店計	13.6	28.0	9.6	12.6
博多大丸	16.8	25.7	6.8	8.0
高知大丸	3.7	30.1	▲1.3	11.0
百貨店事業合計	12.6	26.1	8.7	11.3
既存店計	13.7	27.8	9.2	12.3

- ※注) 1. 2021年度より、これまで各店の実績に含めていた法人外商売上や本社に帰属する収益を法人・本社等として開示します。
 2. 2021年度より、これまで不動産事業に含めていた不動産賃貸収入について、GINZA SIXは法人・本社等へ、百貨店周辺店舗等は各店へ含めています。対前年増減率は、前年実績を組み替えて算出しています。
 3. 1、2に伴い、大丸松坂屋百貨店の売上高を、「商品売上高」と「不動産賃貸収入」に分けて開示します。「商品売上高」は、「2. 大丸松坂屋百貨店 商品別売上高」の合計と一致します。
 4. 松坂屋豊田店は、2021年9月末日をもって営業を終了しました。
 5. 既存店計には、松坂屋豊田店の値を含みません。

2. 大丸松坂屋百貨店 商品別売上高 (対前年増減率：%)

	全店計	
	12月度	9-12月累計
紳士服・洋品	13.3	6.5
婦人服・洋品	18.4	13.7
子供服・洋品	1.4	▲6.3
その他の衣料品	▲3.4	▲7.0
衣料品計	16.5	11.3
身 回 品	9.6	3.1
化粧品	7.3	4.4
美術・宝飾・貴金属	23.5	15.2
その他雑貨	3.1	1.3
雑 貨 計	15.1	9.6
家具	15.4	4.3
家電	▲46.1	▲55.3
その他の家庭用品	▲0.8	0.9
家庭用品計	1.6	0.5
生 鮮	▲5.5	▲4.2
菓 子	16.2	14.2
惣 菜	11.1	8.4
その他食料品	▲2.5	▲0.3
食料品計	5.9	5.7
食堂・喫茶	44.9	11.5
サービス	67.3	18.3
そ の 他	37.5	35.5
合 計	12.5	9.2

- 婦人服はラグジュアリーブランドが対前年2割増と好調を持続したほか、気温の低下により、ニット、コートなど主力アイテムが好調に推移した。紳士服飾では、スーツ、ブルゾンなどが売上を伸ばした。雑貨では、美術が2桁増、宝飾品が2割増となった。食料品は、駅立地店舗を中心とした入店客数の回復により、菓子類が大幅に増加したほか、おせちは巣ごもり需要で好調であった昨年の売上をさらに上回った。また飲食店の人数制限緩和による利用客数や単価の回復を背景に、食堂・喫茶も大幅な増加となった。

2021年12月度 パルコ店舗 テナント取扱高報告

※「テナント取扱高」とは、パルコ店舗におけるテナント取扱高(売上)の合計値で、前年の値も同じ基準で集計いたしております。

1. 店舗別テナント取扱高(対前年増減率：%)

	12月度	9-12月累計
札幌PARCO	21.7	3.9
仙台PARCO	15.4	▲0.3
新所沢PARCO	▲9.7	▲12.4
浦和PARCO	3.5	▲3.7
池袋PARCO	11.5	▲2.1
PARCO_ya上野 ※2	10.9	▲0.8
ひばりが丘PARCO	4.7	▲1.4
吉祥寺PARCO	2.5	1.5
渋谷PARCO	56.4	23.5
錦糸町PARCO	5.6	▲1.8
調布PARCO	2.3	▲2.1
津田沼PARCO	▲1.7	▲8.8
松本PARCO	▲2.2	▲5.7
静岡PARCO	5.4	▲3.4
名古屋PARCO	3.7	▲4.9
心齋橋PARCO	25.9	146.8
広島PARCO	26.1	2.9
福岡PARCO	16.7	4.4
全店計	12.1	4.1
既存店計 ※3	12.1	▲0.1

- ※注) 1. 心齋橋PARCOは、2020年11月20日に開店しました。
 2. 当社は2021年度より報告セグメントを変更し、従来不動産事業に含めていた上野フロンティアタワーの地下1階及び映画館の実績をSC事業として管理することとし、PARCO_ya上野の本年数値に含めています。
 対前年増減率算出の基となる前年数値は前年に開示した値と異なり、地下1階及び映画館の値が含まれます。
 3. 9~12月累計の既存店計には、心齋橋PARCOの値を含みません。

2. アイテム別テナント取扱高(対前年増減率：%)

	全店計		既存店計	
	12月度	9-12月累計	12月度	9-12月累計
衣料品	12.5	3.6	12.5	0.3
身回品	8.5	3.3	8.5	▲2.0
雑貨	11.8	7.7	11.8	2.9
食品	5.8	5.1	5.8	3.8
飲食	31.7	11.5	31.7	0.9
その他	9.5	▲6.4	9.5	▲8.0
合計	12.1	4.1	12.1	▲0.1

※注) 既存店計の9~12月累計には、心齋橋PARCOの値を含みません。

3. 営業概況

- 12月は、前年の新型コロナウイルス感染症第3波の影響の反動があったほか、改装が奏功した都市型店舗の売上が好調に推移し、全店計で前年に対し大幅に伸長した。
- アイテム別では、12月上旬の気温低下により冬物のアウターなどが好調に稼働し衣料品が前年を上回ったほか、アニメやゲーム系コンテンツの、期間限定ショップを含めたショップが売上を伸ばしたことなどにより、雑貨が好調に推移し、全てのアイテムで前年を上回った。